

55 コメツキガニ

(コメツキガニ科)

兵庫県ランク:C

Scopimera globosa

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道から九州に分布する。甲幅10mm。砂質から砂泥質の干潟に巣穴を掘って棲む。甲は球形に近く、ハサミ脚は比較的小さく歩脚は長い。ハサミ脚や歩脚の長節には楕円形の膜状構造がある。巣穴周辺の底質をハサミですくい上げて口器で珪藻類を濾過して摂餌する。このとき残りがすの砂を粒状にまとめて置くため、巣穴周囲には放射状に砂だんごが並ぶ。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	△			

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。播磨東部から西部、及び淡路島で確認されている。チゴガニ(その他無脊椎動物Cランク)と同様に個体数は比較的安定しているため、現状では絶滅の危機にあるとは言えないが、干潟環境の悪化が進行しているので今後減少する危険性がある。

保護上の留意点

県内における個体群は比較的安定しているが、護岸工事や埋め立てなどが生存の脅威となりうる。前浜干潟や河口域の砂質や砂泥質の干潟が本種の主な生息域であり、河川整備などの際には留意が必要。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 渡部哲也